

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等		生涯学習推進課										
	評価者	社会共創部長			担当者		生涯学習推進課長			担当者								
	評価者				担当者					担当者								
基本目標	4	一人ひとりが学び、高め合うまち																
基本施策	6	主体的に学び合い、学びを生かすことができるまちづくり																
施策12	総合戦略	多様な生涯学習の推進																
施策の目指す姿	生涯にわたって学びたいときに学べる機会と場所があり、市民同士が互いを高め合えるまちを目指します。																	
SDGSとの関連	(目標)	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長・雇用	9 インフラ・産業化・イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段・パートナーシップ
成果指標	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率		達成率の主な要因等				
	「生涯学習の機会充実」の満足度					%	34.2 (2019)		32.1 (意識調査'23)		40		80.3		2019年度に比べ2.1%下回り、目標値に比べても約8%下回っている。参加したくなるような講座等の企画と施設を気軽に利用しやすい取組が必要			
プロセス指標	達成率評価	指標名			単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率		達成率の主な要因等				
	C	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数			人	156,437 (2019)		141,790		180,000		78.8		新型コロナウイルス感染症の分類が5月から見直されたが、この間休会・解散になったサークルも多く、十分な利用が見込めなかった。				
	A	出前講座の延受講者数			人	5,990 (2019)		7,720		8,000		96.5		新型コロナウイルス感染症の分類が5月から見直されたことや出前講座の浸透や時代に応じた講座の提供等により要望が増えており概ね目標値に近づいている				
施策に関連する主な事務事業の評価																		
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性 事業コスト				
公民館人権教育推進事業	必要不可欠	普通	変わらない	同和問題をはじめあらゆる差別をなくし、住みよい暮らし、良い地域社会を築くため、町別人権問題学習会の支援等を図り市民の人権意識を高める										現状維持	現状維持			
公民館管理事業	高い	普通	変わらない	団体や個人が生涯学習や社会教育を学ぶために拠点となる身近な公共施設として施設の維持管理に努める必要がある										拡充	現状維持			
公民館活動事業	高い	有効	変わらない	生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、魅力ある成人講座などの各種講座を企画開催することが求められる										拡充	拡大			
◆公民館整備事業	普通	有効	向上	照明器具をLED化したことにより消費電力量の節減を図り、施設の長寿命化を図ることができた										現状維持	拡大			
臥竜山公会堂管理事業	普通	あまり有効ではない	変わらない	利用しやすいように畳の大広間に机と椅子を購入して、施設の利便性を高める努力をしているが、なかなか利用拡大に繋がっていない。花見シーズン以外の利用拡大を図る必要がある										現状維持	現状維持			
◆臥竜山公会堂整備事業				事務事業評価なし														
◆生涯学習推進事業	高い	有効	変わらない	今後も参加者が気軽に参加できる新規講座などを積極的に企画して、学びを基礎とした「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」を進めるとともに高頭との連携を進めながら満足度を高めていく										拡充	現状維持			
生涯学習センター管理事業	普通	有効	変わらない	市民が気軽に利用できる公共施設として施設・設備機能の充実を図ることにより、利用団体等がより快適で安全な環境で学習や交流を深めるために施設維持に努める										拡充	拡大			
◆生涯学習センター整備事業	普通	普通	向上	長年の懸案試行であった駐車場不足を解消するために老朽化している西館等を取壊して跡地に駐車場を整備するとともに避難所としての充実を図る										拡充	拡大			
旧上高井郡役所管理事業	高い	有効	変わらない	歴史的建造物である旧上高井郡役所を市民の交流施設として活用しているが、老朽化により施設維持が難しいことと文書を保存活用する施設としての担当課へ所管替えをしていきたい										縮小	現状維持			
◆旧上高井郡役所整備事業	普通	有効	向上	文化財である旧上高井郡役所の保存に伴い、市民の交流の場としても活用するために老朽化した照明のLED化を行い消費電力量の軽減を図る										現状維持	拡大			
			</															

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等		文化スポーツ課											
	評価者	社会共創部長			担当者		文化スポーツ課長			担当者									
	評価者				担当者					担当者									
基本目標	4	一人ひとりが学び、高め合うまち																	
基本施策	7	文化・芸術・スポーツ活動に熱心なまちづくり																	
施策13		文化・芸術・交流活動の推進と継承																	
施策の目指す姿	地域の歴史・文化や芸術を市民が学び、親しみ、活躍するまちを目指します。																		
SDGSとの関連	(目標)																		実施手段・パートナーシップ
成果指標	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進」の満足度				%	33.9 (2019)		35 (意識調査'23)		50		70	コロナ禍での余暇の楽しみ方として文化芸術等に触れる機会があり、向上したのではないかとと思われる						
	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合				%	18.4 (2019)		20.6 (意識調査'23)		30		68.7	コロナ禍での行動制限や活動自粛が要因の一つかと思われる						
	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合				%	20.6 (2019)		20.4 (意識調査'23)		30		68	コロナ禍での行動制限や活動自粛が数値低下の要因の一つかと思われる						
プロセス指標	達成率評価	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
	C	機能分散型総合博物館入館者数				人	32,584 (2019)		18,140		50,000		36.3	コロナ感染症の行動制限も解除され、各種展示事業も再開してきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、入館者の回復には至っていないと考えられる。					
	C	メセナホール入館者数				人	81,170 (2019)		57,194		90,000		63.5	コロナ感染症の行動制限も解除され、各種イベントや公演も再開してきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、入館者の回復には至っていないと考えられる。					
施策に関連する主な事務事業の評価																			
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント								今後の方向性 事業コスト							
創造の家管理事業	普通	普通	変わらない	スポーツ協会の指定管理事業となっているが、施設について今の社会情勢や時代に即した施設意義と用途を検討し、施設の在り方の方向性が必要である。								現状維持	縮小						
◆創造の家整備事業	高い	有効	向上	スポーツ協会の指定管理事業となっているが、施設について今の社会情勢や時代に即した施設意義と用途を検討し、施設の在り方の方向性から施設整備を図る必要がある。								現状維持	現状維持						
文化活動振興事業	高い	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進のため支援や保存を継続していく必要がある。								現状維持	現状維持						
図書館管理運営事業	高い	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、図書館の原点に立ち、学びの支援と活字文化の継承を創意工夫し、事業の刷新や利用者の満足度・利用数の向上、誰でもが継続的に利用でき管理運営								現状維持	現状維持						
◆図書館整備事業	高い	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、図書館を長く使用するため、施設の維持管理に努める。								現状維持	縮小						
博物館管理運営事業	普通	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、機能分散型総合博物館の推進するため、市民や地域と一体となる取組みや、横断的連携による文化芸術振興のまちづくりが必要。								現状維持	現状維持						
◆博物館整備事業				事務事業評価なし															
文化財調査研究事業	必要不可欠	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、埋蔵文化財の調査結果を学びに活かしていくことが必要である。								現状維持	現状維持						
文化財保存活用事業	高い	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、保存活用を基本に刷新を図りつつ、文化財への親しみや理解を進めていくことが不可欠である。								現状維持	現状維持						
◆伝統的建造物群保存事業	高い	有効	変わらない	須坂らしい歴史的景観を受け継がれ住民の共有の財産として後世に継承するとともに、まちづくりの活用や生活環境、文化的環境の向上と活力あるまちづくりの推進が必要である。								現状維持	拡大						
文化施設管理事業	高い	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、創意工夫による事業の刷新や利用者の満足度・利用数の向上、誰でもが継続的に利用でき管理運営等に取り組んでいく必要がある。								現状維持	現状維持						
◆文化施設整備事業	高い	有効	変わらない	実施計画の目指す姿を醸成するため、施設の安全性を最優先し、施設の整備を進める。								現状維持	拡大						
文書館管理運営事業	高い	有効	変わらない	古文書の収集保管、活用をさらに博物館等と連携して進めていく必要がある。								現状維持	現状維持						

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等		文化スポーツ課										
	評価者	評価者	社会共創部長		担当者		文化スポーツ課スポーツ振興担当課長		担当者									
基本目標	4	一人ひとりが学び、高め合うまち																
基本施策	7	文化・芸術・スポーツ活動に熱心なまちづくり																
施策	14	スポーツ活動の充実																
施策の目指す姿	スポーツを通じ、健康で生き生きと学び挑戦する心を育み、地域の連帯感や活力が醸成されるまちを目指します。																	
SDGSとの関連	(目標)	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康と福祉をこころえ	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等をすすめる	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギー	8 豊かさをみんなに実感	9 産業と雇用を創出	10 人や国ごとの格差をなくす	11 安全で住みやすい都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会をこころえ	17 パートナーシップで目標を達成しよう
成果指標	指標名					単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等							
	「日頃スポーツをする・観る・関わっている」人の割合					%		36.4	(意識調査'23)	40	91	コロナ5類移行に伴い回復の兆しが見られる。						
プロセス指標	達成率評価	指標名					単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等						
	C	スポーツ協会構成人数					人	4,172 (2019)	3,521	4,200	83.8	昨年に比べ構成人数は微増した。						
	C	子ども向けスポーツ教室の参加人数					人	1,356 (2019)	1,098	1,400	78.4	コロナの5類移行に伴い回復の兆しが見られるが、参加者数は昨年より微減した。						
	C	市民一人あたりのスポーツ施設利用回数					回	5.5 (2019)	4.8	6	80	コロナ5類移行に伴い回復の兆しが見られる。						
施策に関連する主な事務事業の評価																		
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント							今後の方向性							
体育施設管理事業	高い	普通	やや向上	施設整備の要望はあるものの、コストが過大であるため使用料の見直しが必要。また、福島スポーツ広場の土地賃借料もコスト削減が必要。							拡充	拡大						
◆体育施設整備事業	高い	有効	やや向上								拡充	拡大						
◆生涯スポーツ事業	高い	有効	やや向上	2028年度に開催される国民スポーツ大会の準備をすすめるにあたり人員体制や、当市の開催競技であるトランポリン競技の普及が課題である。							現状維持	現状維持						
体育団体等助成事業	高い	有効	変わらない	少子化高齢化により、スポーツ協会加盟団体数及びその会員数が減少傾向にあるが、当市のスポーツ振興のため、引き続きスポーツ協会及びスポーツ団体を支援していく必要がある。							現状維持	現状維持						

[illegible]